

運営推進会議・介護医療連携推進会議について

1 「運営推進会議」・「介護医療連携推進会議」とは

運営推進会議とは、地域密着型サービス事業者が自ら設置するもので、利用者の家族や地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容を明らかにすることでサービスの質を確保し、地域との連携を図ることを目的としています。

また、地域密着型サービスのうち、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、運営推進会議に代わり、介護・医療連携推進会議を実施する必要があります。

介護・医療連携推進会議は、地域の医療関係者を構成員に加え、地域における介護及び医療に関する課題について関係者が情報の共有を行い、介護と医療の連携を図ることを目的として開催するものです。

2 構成員・主な目的・内容

	運営推進会議	介護医療連携推進会議
構成員(*)	<ul style="list-style-type: none">・利用者又は利用者の家族・地域住民の代表者・当該サービスに知見を有する者・市の職員または当該事業所を管轄する地域包括支援センターの職員	<ul style="list-style-type: none">・利用者又は利用者の家族・地域住民の代表者・地域の医療関係者 (医師・医療ソーシャルワーカー等)・当該サービスに知見を有する者・市の職員または当該事業所を管轄する地域包括支援センターの職員
主な目的	・事業所が提供しているサービスの内容を会議で明らかにすることにより、利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスとすることでサービスの質の確保を図る。	・事業所が提供しているサービスの内容を会議で明らかにすることにより、利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスとすることでサービスの質の確保を図る。 ・ 地域における介護及び医療に関する課題について関係者が情報共有を行い、介護と医療の連携を図る。
主な内容	活動状況を報告し、必要な要望・助言等を聴く。	活動状況を報告し、必要な要望・助言等を聴く。

(*)基準上、構成員に該当する者が会議に出席する必要があります。ただし、構成員の都合などやむをえない事情により構成員が出席できない場合は、基準違反とはなりません。その場合は出席できなかった構成員に資料・議事録等を送付の上、意見等がないか確認してください。

3 開催回数

運営推進会議には、サービスごとに開催回数の基準が設けられています。次に記載する回数を実施しない場合は、指導の対象（指定基準違反）になりますのでご注意ください。

- ・地域密着型通所介護 ⇒ おおむね 6 か月に 1 回（年に 2 回以上）
 - ・療養通所介護 ⇒ おおむね 12 か月に 1 回（年に 1 回以上）
 - ・認知症対応型通所介護 ⇒ おおむね 6 か月に 1 回（年に 2 回以上）
 - ・小規模多機能型居宅介護 ⇒ おおむね 2 か月に 1 回（年に 4 回以上(*)）
 - ・認知症対応型共同生活介護 ⇒ おおむね 2 か月に 1 回（年に 4 回以上(*)）
 - ・看護小規模多機能型居宅介護 ⇒ おおむね 2 か月に 1 回（年に 4 回以上(*)）
 - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護⇒おおむね 6 か月に 1 回（年に 2 回以上）
 - ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護⇒おおむね 2 か月に 1 回（年に 4 回以上(*)）
- (*) 最低限「年 4 回以上」実施しない場合は指定基準違反となります。**

4 合同開催について

運営推進会議（介護・医療連携推進会議）の効率化や、事業所間のネットワーク形成の促進等の観点から、次に掲げる条件を満たす場合は、複数の事業所の運営推進会議（介護・医療連携推進会議）を合同で開催することが可能です。

- (1) 利用者及び利用者家族については匿名とするなど、個人情報・プライバシーを保護すること。
- (2) 同一の日常生活圏域内に所在する事業所であること。ただし、事業所間のネットワーク形成の促進が図られる範囲で、地域の実情に合わせて、市町村区域の単位等内に所在する事業所であっても差し支えないこと。
- (3) 合同で開催する回数が、1 年度に開催すべき運営推進会議（介護・医療連携推進会議）の開催回数の半数を超えないこと。
- (4) 外部評価を行う運営推進会議（介護・医療連携推進会議）は、単独で開催すること。